

## ニチダイ (コード 6467 ジャスタック)

業績推移(連結)

(予想は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円、%、円)

| 決算期     | 売上高    |       | 経常  |       | 一株当たり |     | 配当性向 | 売上高<br>経常利益率 |
|---------|--------|-------|-----|-------|-------|-----|------|--------------|
|         |        | 伸び率   | 利益  | 伸び率   | 純利益   | 配当  |      |              |
| 09.3    | 10,394 | -17.4 | 190 | -82.2 | 22.7  | 8.0 | 35.2 | 1.8          |
| 10.3    | 6,887  | -33.7 | 419 | -     | 49.7  | 0.0 | -    | -            |
| 11.3(予) | 9,000  | +30.7 | 200 | -     | 16.6  | 6.0 | 36.2 | 2.2          |

### 精密鍛造金型のトップメーカー

**特色**...切削によらず、精密金型を使ってプレスで部品を完成品の形状に一発成形する「ネットシェイプ」をコア技術とする精密鍛造金型のトップメーカーで、自動車向けが主力。ネットシェイプ事業では、主にエンジン・トランスミッション・駆動系部品などの成形に使われる精密鍛造金型や、自動車部品・アルミ合金製エアコン部品などの精密鍛造品を生産。アッセンブリ事業では、ディーゼルエンジン用 VG ターボチャージャー部品の組立などを展開。フィルタ事業では、食品、医薬品、原子力、航空宇宙など、多様な産業分野で使われる積層焼結金網フィルタを製造。

### 10年3月期は大幅減収、赤字に

**赤字、無配に**...10年3月期は、売上高が09年3月期比33.7%減となった。第1四半期(09年4~6月)を底に収益が回復してきたものの上半期における売上急減の影響が大きく、営業損益は4億1,200万円の赤字、経常損益も4億1,900万円の赤字に終わった。事業別売上は、ネットシェイプ事業:41億300万円(09年3月期比34.2%減)、アッセンブリ事業:18億4,700万円(同34.3%減)、フィルタ事業:9億3,700万円(同30.6%減)。ネットシェイプ事業においては、国内ではエコカー減税による販売台数増や新興国向けの輸出金型増、海外ではアジア地域における中国、韓国メーカーへの売上増が寄与。アッセンブリ事業においては、欧州自動車市場の低迷によりVGターボチャージャー部品が伸び悩んでいる状況。フィルタ事業も、国内においてヘルスケア向けなど新製品の売上増が寄与したものの、海外において石油掘削市場の停滞による石油掘削用フィルター需要低迷が影響した。

### 11年3月期は損益黒字化、復配目指す

**業績回復へ**...11年3月期は、売上高が10年3月期比30.7%増の見込みで、同社では「上半期における業績は緩やかな上昇となる一方、下半期から本格的な業績回復に入っていく」とみている。事業別売上予想は、ネットシェイプ事業:53億円(10年3月期比29.1%増)、アッセンブリ事業:27億5,000万円(同48.9%増)、フィルタ事業:9億5,000万円(同1.4%増)。ネットシェイプ事業においては、金型部門において主力ユーザーにおける需要回復は下半期から本格化が見込まれるほか、米系部品メーカー向けの精密鍛造部品の量産を開始。アッセンブリ事業では、欧州自動車市場の回復や新興国向け需要増などに加え、ニチダイタイランドにおけるターボチャージャー部品の量産本格化へ。また、フィルタ事業では新製品や新用途開拓によって、厳しい国内投資環境や石油掘削用フィルター需要低迷などのカバーを図る。配当は年6円復配を目指す。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。